

第2回横浜市いずみ台公園こどもログハウス指定管理者選定委員会 会議録概要	
対 象 施 設	横浜市いずみ台公園こどもログハウス
日 時	令和8年8月17日（月）午後1時～午後3時
開 催 場 所	横浜市泉区役所 4AB 会議室
出 席 者	選定委員：大塚委員長、高橋委員、長谷委員、平本委員、渡辺委員（計5名）
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（傍聴者0人）
議 題	1 指定管理者応募書類審査及び面接審査 2 指定候補者の選定
決 定 事 項	横浜市いずみ台公園こどもログハウスの指定候補者に「特定非営利活動法人よつ葉の会」を選定
議 事	1 開会 事務局から、委員の定足数を確認し、「横浜市いずみ台公園こどもログハウス指定管理者選定委員会運営要綱第7条第3項により委員会が成立していることを報告 2 事務局説明 (1) 資料確認 (2) 委員会の公開・非公開 第1回選定委員会の決定により、応募団体によるプレゼンテーション及び質疑応答までを公開とし、その後の委員による審査部分について非公開とすることを確認 (3) 委員会の流れ 面接審査の後に総括審査を行うことを説明 (4) 応募団体について 応募団体は1団体であり、欠格事項に該当しないことを確認した。また、応募が1団体であるため、団体名を公開した上で面接審査を行うことを説明 (5) 評価について 評価基準項目のうち「6 加減点項目」について説明 ア「(1) 市内中小企業等であるか」について 応募団体は、「地域住民を主体とした施設の管理運営等のために、地域住民を中心に設立された団体」に該当することから、当該評価項目については5点を加点することを確認 イ「(2) 本市重要施策を踏まえた応募団体の取組状況」について 応募団体から当該項目に該当する取組に関する申出がなかったため、当該評価項目の評価点は0点となることを確認 (6) 最低基準点について 最低基準点は、加減点項目を除く委員点数合計500点の60%に当たる300点となることを確認 3 応募団体の財政状況について 長谷委員より、応募団体の経営状況及び財務状況に支障がない旨の説明及び報告

4 面接審査（プレゼンテーション及び質疑応答）

（1）団体プレゼンテーション（特定非営利活動法人よつ葉の会）

（2）質疑応答

（委 員） 常時2名体制で運営しているとのことだが、職員の欠勤や退職等が発生した場合の代替要員確保の体制について確認したい。

また、新たに提案されている夜間のお話し会や天体観測会等の自主事業について、保護者の同伴、職員配置、緊急時対応、近隣住民への配慮及び関係機関との調整方法について伺いたい。

（団 体） ログハウスには現在8名のスタッフを配置しており、法人全体では約30名の職員及びスタッフが在籍している。急な欠勤や退職が生じた場合には、法人全体で応援体制を組み、運営に支障が生じないように対応する。

自主事業については、夜間コンサート、天体観測会、夜のお話し会等を企画している。また、既設飲料自動販売機に加え、アイスクリーム自動販売機の設置も検討している。事業実施に当たっては、消防署との防災訓練や交通安全教室などと同様に必要な手続を行うとともに、ホームページや広報紙を活用して周知を図り、地域の理解を得ながら進める考えである。

（委 員） 令和8年度は6月から翌年1月まで休館となる予定であるが、この改修工事については事前に把握していたのか。また、長期間の休館による利用者への影響についてどのように考えているか伺いたい。

（団 体） 改修工事については昨年度から説明を受けていた。現在は家庭用に近い空調設備2台で対応しており、夏季には館内温度が30度を超える状況となっている。利用者及びスタッフ双方の熱中症対策が課題となっていたため、空調設備増設及び屋根改修は必要な工事であると認識している。

（委 員） 年間約2万人の利用者がある施設であり、半年間の休館による利用者離れが懸念される。また、休館期間中の職員の雇用維持についても確認したい。

（団 体） 設備改修により利用環境の向上が期待できるため、再開館後は積極的な広報を行い利用促進に努めたい。職員については雇用を継続し、休館期間中は他施設への視察研修を実施することで、人材育成を図っている。

（委 員） 土日を中心に利用者が増加する中、スタッフ2名体制で十分な安全管理が可能なのか伺いたい。

（団 体） 利用者は土日に集中する傾向があるが、乳幼児については保護者同伴を原則としている。また、施設は比較的見通しの良い構造であり、死角も少ない。さらに、イベント開催時には応援体制を取り、複数のスタッフで対応していることから、安全面には十分配慮している。

（委 員） 外国籍利用者の状況及び外国籍職員の採用に関する考え方について伺いたい。

（団 体） 外国籍利用者は周辺地域ではそれほど多くないが、法人が運営する

	他施設には外国籍スタッフも在籍している。採用に当たって国籍による制限は設けておらず、今後は障害者雇用についても積極的に取り組んでいきたいと考えている。 5 総括審査 「特定非営利活動法人よつ葉の会」が出席委員の合計点 487 点/600 点を獲得した。加減点項目を除いた合計点は、413 点となり、最低基準点の 300 点以上を満たしていることから、同団体を指定候補者に選定した。なお、応募団体が 1 団体であったため、次点候補者は該当なし。 (講評) ・長年にわたり安定した施設運営が行われており、これまでの実績について評価できる。地域との連携や利用者対応についても適切に取り組まれていることがうかがえた。 ・自主事業においては新たな取組も見られ、施設の魅力向上に努めている点を高く評価した。 ・第三者評価で指摘された改善事項への対応については説明が十分ではなく、特に個人情報保護などの重要事項については、引き続き改善に取り組む必要があると考える。 ・安全管理については日頃から配慮がなされており、安定した運営につながっているものと受け止められた。今後も引き続き安全面を重視した施設運営に期待したい。 ・プレゼンテーションや質疑応答を通じて内容を確認した結果、概ね適切な運営が行われていることが確認できた。利用者が安心して利用できる環境づくりに努めていることがうかがえた。 ・法人全体の運営実績については十分評価できる。また、防災・防犯対策についても関係機関との連携が図られていることを確認した。一方で、防災訓練の内容や具体的な取組、施設の特色を生かした運営上の工夫などについては、より具体的な説明があると理解が深まるものと感じた。 ・子どもを対象とした施設の運営は容易ではない中、施設を視察した際には利用者が楽しそうに過ごしている様子が見られ、日頃から適切な運営が行われていることがうかがえた。人材確保が難しい状況にありながらも、安定した運営体制を維持している点は評価できる。 ・約 20 年にわたり施設運営を継続してきた実績を高く評価した。今後、施設改修等により利用者の増加が見込まれるため、現在の職員 2 名体制で十分対応できるかについては引き続き検討が必要であると考え。一方で、現時点における運営実績や管理能力については十分に評価できる。 ・総じて安定した運営実績と管理能力は評価できるとの認識であった。また、今後は物価高騰や厳しい財政状況を踏まえ、コスト管理の重要性が高まると考える。自主事業の充実などを通じて施設の魅力向上や収入確保に取り組む、持続可能な施設運営につなげていただきたい。 6 区長への報告 選定結果報告書を作成し、泉区長へ提出する。 7 その他 選定結果報告書及び会議録については、委員長に確認を一任する。
資 料 ・ 特 記 事 項	1 資料 (1) 第 2 回横浜市いずみ台公園こどもログハウス指定管理者選定委員会次第 (2) 横浜市指定管理者選定委員会 評点表 (3) 応募団体の市税納付状況の照会結果 (4) 応募団体の暴力団排除条例に関わる照会結果

	2 特記事項 特になし
--	----------------